

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：Poco a Poco保育園	種別：地域型保育事業（居宅訪問型保育事業除く）	
代表者氏名：亀山 愛弓	定員（利用人数）：19名	
所在地：〒234-0051 横浜市港南区日野5-1-18		
TEL：045-842-1820	ホームページ： https://www.lumiereplanning.co.jp/	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：2017年04月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：有限会社 ルミエール企画		
職員数	常勤職員：5名	非常勤職員：5名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：8名	
施設・設備 の概要	（居室数）	（設備等）
	0歳児室	職員室
	1歳児室	調理室
	2歳児室	園庭

③理念・基本方針

<理念>

1. 「児童憲章」の冒頭に謳われた理念を常に念頭に置きます。
2. 子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の幸福のために保護者や地域社会と力を合わせ、児童の福祉を積極的に増進するようにします。
3. 職員は児童に豊かな愛情をもって接し、児童の処遇向上のための知識の習得と技術の向上に努めます。
4. 育児支援のために常に社会性と良識に磨きをかけ、相互に啓発しあい社会的役割を担います。

<保育方針>

「知徳体食」育のバランスの取れた保育に努めます。

- 知－遊びを通して多くのことを学びます。
- 徳－たっぷり愛情を注いで、豊かな心・優しい心を育てます。
- 体－適度な運動を日々継続して、健康なからだづくりをします。
- 食－日々の食事や調理体験を通して生命と食の大切さを学びます。

<目標（ねらい）>

1. 家庭と地域社会との連携を図り、保護者の協力の下に家庭養育の補完を行います。
2. 子どもが健康、安全で情緒の安定した生活ができる環境を用意し、自己を十分に発揮しながら活動することができるようにすることにより、健全な心身の発達を図ります。
3. 養護と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成します。
4. 保育に関する要望や意見、相談に際しては、わかりやすい言葉で説明してより良い保育のために努力研鑽します。

④施設・事業所の特徴的な取組

<Poco a Poco保育園の特徴的な取り組み>

- 乳児一人ひとりをしっかり把握し、子どもに寄り添いつつ、養護を重点に個々の発達やテンポを合わせた働きかけ等をして、心身の健全な成長に努めます。
- 自己の成長と共に他者との適度なかわり方を促し、適切なコミュニケーション能力の向上・育ちに努めます。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2021年05月10日（契約日） ～ 2021年10月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	初 回（年度）

⑥総評

【Poco a Poco保育園の概要】

●Poco a Poco保育園は、有限会社ルミエール企画（以下、法人という）の経営です。Poco a Poco保育園は、平成29年設立の小規模保育事業A型の保育園です。前身は横浜保育室Poco a Pocoとして横浜保育室制度の設定と同時に開園した実績のある保育園です。平成23年に規模の大きい認可保育園の「COSMOS保育園」を開園し、姉妹園として運営していましたが、平成29年に国及び市の待機児童対策として、特に需要の多い3歳未満児の対応として小規模保育園の制度が設定され、横浜市の意向と共に改組して小規模保育事業A型のPoco a Poco保育園が誕生しました。定員19名に対し、園舎の空間は広く、スペース半分程度の西側に保育室3部屋を設け、直接的に保育に使用しない部屋や広い廊下を確保し、雨の日でも子どもたちが走り回れる余裕のある園舎となっています。また、園庭も脇にあり、十分なスペースを有しています。Poco a Poco保育園は、横浜市営地下鉄港南中央駅から徒歩7分程度のところに位置し、建物の西側下を大岡川の支流の日野川が流れ、春には立派な桜が咲き、四季折々が彩られる環境にあります。

◇特に評価の高い点

1. 【きめ細やかな保育の実施】

●小規模保育園の特徴でもあり、Poco a Poco保育園では、子ども一人ひとりと密接に関わり合い、全職員がそれぞれの子どものをしっかり把握し、寄り添いながら養護を行うことを重点とし、一人ひとりのリズムに合わせた保育を行い、心身の健全な成長を育てています。担任が1人で担う比率に変わりはありませんが、フリーの保育士や園長、主任、調理師等を加えると、子ども1人に関わる大人の数に歴然として多く、特に、幼少期、愛着関係を育む時期に信頼できる大人との関わりは大きく、職員は子どもにたっぷり愛情を注ぎ、ゆとりを持って保育に当たっています。

2. 【食育と農園体験】

●Poco a Poco保育園では、英語、音楽、体操等を取り入れ、特色あるプログラムを展開し、さらに、食育に力を入れています。現在、コロナ禍の中ですが、法人代表が借用

している農園で、姉妹園の「COSMOS保育園」と農園体験や見学を合同で実現させ、土に触ったり、収穫の体験の機会を提供しています。Poco a Poco保育園の子どもたちは収穫時に姉妹園の園児たちと一緒に農園体験を行い、収穫した作物は食卓に乗せ、保育士が話をしながら食への興味へとつなげています。園庭ではプランターでミニトマト等を栽培し、農園体験で収穫した作物は自宅に持ち帰り、家庭で調理してもらい、家庭での食育にもつなげています。Poco a Poco保育園の美味しい食事、収穫体験での喜びは子どもの豊かな経験として成長の過程に刻み込まれます。

◇改善を求められる点

1. 【小規模保育事業A型保育園の知名度アップへの取り組み】

●現在、保育園は利用者のニーズに合わせて多様な選択肢が設けられています。厚生労働省管轄の保育園、文部科学省管轄の幼稚園、総務省管轄の認定こども園等が認可保育園としてあり、幼稚園でも時間外で預かるサービスを提供しています。そして、小規模保育事業（A型～C型）が設けられ、保護者には選択肢は増えてきましたが、これらの違いについて豊富な情報網には希薄さが見受けられます。特に、小規模保育事業はまだ新しく、浸透に時間を要している状況でもあります。また、乳幼児期から3歳児になってからの連携先の不安や疑問等の払拭、小規模保育事業の特徴・メリットを、さらに法人全体で進路の準備が整備されていること等のアピール、周知の強化を図る機会、工夫に期待されます。

2. 【園外との交流の方法について】

●課題の1つとして、園児の年齢を鑑み、地域との交流が難しい点が挙げられます。また、小規模保育園では団体生活や、色々な大人に慣れていない点を鑑み、町内会に加入する等、子どもが地域との交流の一環となるよう働きかけていますが、直接的には大人中心となり、難しい面は否めません。進路での保育園等を踏まえ、大勢の子どもに溶け込んでいけるよう例えば、港南区の地域子育て支援拠点「はっち」の利用や、地域の小規模保育園間で集まって交流する機会を設ける等、一考を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名： 有限会社 ルミエール企画 Poco a Poco保育園

<評価（自己評価等）に取り組んだ感想>

今回、当園では初めて第三者評価を受審いたしました。調査者の方と話をすることで、子どもにとって最善の利益について考えることに偏っていた私の視点に対し、もっと公正で専門家の広い視野を教授していただいたと思えました。また、その視点は、より保護者が求める保育園像に近いものだと感じ、以前よりも柔軟に向き合うことが必要だと感じることができました。

この第三者評価という貴重な機会に立ち会えたことは大きな喜びであり、この喜びと学びを職員と共有し、より良い保育へと生かしていきたいと思えます。

<評価後取り組んだ事として>

1. 職員と情報交換し、私自身になかった視点や専門家の視点を共有することで、保育に対する対応に奥行きが生まれている。

2. 新型コロナウイルス禍ではあるが、地域との交流として、地域子育て支援センターや地区センター等を利用し、施設スタッフと交流をこれから持っていきたい。

3. 毎日、定期的に行っているが、掃除についての指摘があり、既存のほうき以外にもすぐに手軽に使用できる「コロコロ粘着シール」を導入した。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり